



顧客成功事例

Banca Popolare di Sondrio : EDB Postgres® AI による イノベーションの加速





**Banca Popolare
di Sondrio** FONDATA NEL 1871

お客様：

**Banca Popolare
di Sondrio (BPS)**

「私は Postgres の限界がどこにあるのかを見つけようとしたが、システム管理の観点から、私たちの展開に特定の境界や制約は見当たりません。機能面から見ると、Postgres は進化し続けています。ですから、その可能性に終わりはないと私は考えています。」

Piergiorgio Spagnolatti
インフラストラクチャ責任者
Banca Popolare di Sondrio (BPS)



概要

BPSがオープンソースのPostgresとEDBのサポートで アプリ開発を加速する方法

Banca Popolare di Sondrio (BPS) のインフラストラクチャ責任者である Piergiorgio Spagnolatti (PJ) 氏は、Postgres の導入が 25 年にわたって着実に増加し、特に過去 5 年間で急激な増加が顕著であることに気づきました。

「可用性とパフォーマンスの観点から物事がスムーズに実行されることを確認する必要があるシステム管理者にとって Postgres は、優れた RDBMS システムです」と彼は指摘します。「さらに、時間が経つにつれて、物事は進化し、最新のアプリケーションを開発する際に、Postgres を主なソリューションとして検討する開発者が増えてきました。」



従来型のRDBM SQLアプローチに依存する従来の開発者は、長らくPostgresの最も典型的なユーザーとみなされてきました。しかし、このグループには、ベクター、REST API、バックエンドストアとしてのJSONの使用、その他Postgresの機能が必要とするチームも含まれるようになりました。



無限の可能性を秘めた1つのデータベース

PJ氏は1995年にシステム管理者としてBPSに入社し、IT運用管理の職務を経てネットワークに関わるすべてのチームを監督し、最終的にDevOps管理チームに配属されました。PJ氏は、Postgresの柔軟性と、チームがさまざまなニーズに合わせてPostgresを簡単に拡張できることを高く評価しています。

「Postgresの限界はどこにあるか調べてみましたが、システム管理の観点からは、私たちの展開に特定の境界や制約は見当たりません」とPJ氏は言います。「機能面から見ると、Postgresは進化し続けています。だから、その可能性に終わりはないと私は考えています」。

それほど拡張性やスケーラビリティに欠ける他の従来型のデータベースエンジンでは、開発者は新しい機能や新しいアプリケーションを改良し、すべてを最初から再設計する必要があり、開発者の観点と運用の観点から多くの作業が必要になります。これはPostgresには当てはまりません。PJ氏が断言しているように、これがPostgresが今後も存続する理由です。

クラウドネイティブアーキテクチャ：もう一つの大きな勝利

PJチームにKubernetesクラスター上でPostgresワークロードを管理する方法に革命をもたらしたのがCloudNativePG Operator for Kubernetesです。このオープンソースオペレーターは、従来の物理サーバーまたは仮想マシンベースのデータベースから、クラウドネイティブアプリケーションとシームレスに連携するコンテナ化されたモデルへの移行を効率化します。また、プライベート、パブリック、ハイブリッド、マルチクラウド環境で実行できます。

「クラウドネイティブアーキテクチャはゲームチェンジャーです」とPJ氏は言います。「私の経験では、基本的にそんなことをする人はいませんでした。」

クラウドが未来である理由

Capgemini Researchによると、現在、銀行と保険会社の2社に1社がコアビジネスアプリケーションをクラウドに移行しています。IT運用マネージャーがデータベースをクラウドに移行することを決定するには何が必要ですか? PJ氏は、この進化はクラウドネイティブアーキテクチャ全体から得られる利点を理解することから生まれると述べています。

「私たちの業界では、データベースシステムはまったく変更不可能なものとして認識されています。変更を加える場合でも、スケーラビリティや可用性などの特定の問題を中心に、時間をかけてゆっくりと移行していくものと考えられています」とPJ氏は言います。「ですから、すべては『どうすれば高可用性を実現できるか』、そして『バックアップや災害復旧をどう行うか』という点を中心に展開されます。」

クラウドを使用すると、需要に合わせてリソースを迅速に拡大または縮小できます。新しい開発、テスト、負荷テスト環境を簡単に作成できます。従来のオンプレミスプロバイダーでは、データ要件が厳しく、価格も問題となるため、データベースとワークロードを統合する必要はありません。

「レプリケーション、可用性など、必要な機能を提供することで、データベースのプロビジョニングと実行を可能にするオペレーターを使用することは、非常に理にかなっています」とPJ氏は言います。「これは、データアーキテクチャの進化という観点から見れば、論理的な次のステップです。」





AIの可能性を解き放つ

金融サービス企業の3社のうち2社がAIの活用を開始しており、これらの組織と同様に、PJ氏と彼のチームもAIの利点を活用したいと考えています。同行では、銀行内の潜在的なユースケースに大規模な言語モデルと生成AIを導入することを計画しており、これには既存の知識ベース、内部ルール、ポリシー、エンドユーザー向けのドキュメントを活用することが含まれます。

PJ氏とアプリアーキテクチャチームのメンバーがドキュメントの埋め込みとベクトル化を開始する方法について話し合ったところ、この種類のデータを保存するための候補の1つとしてPostgresが浮上しました。生成機械学習データは既存のデータ構造とは異なる方法で保存されますが、PJ氏はこのユースケースがPostgresに適していると考えています。

「ユースケースが異なっても、Postgresの名前が常に挙がるという事実は、基盤となるエンジンの品質の高さを物語っています」とPJ氏は言います。

AIとクラウドベースのデータストレージおよび管理の相乗効果を組み合わせることで、金融機関は強化されたデータ分析やその他の多くの将来志向のソリューションへの扉を開くことができます。

Postgresでイノベーションを加速

PJ氏は、銀行の内部および外部の顧客向けの製品の市場投入までの時間を短縮することへのプレッシャーが非常に大きいと指摘しています。これらの期待に応えるために、開発チームには、迅速に開発し、アプリケーションに新しい機能をシームレスに追加し、パフォーマンスの問題を効率的にトラブルシューティングできる機能が必要です。

PJ氏は、ソフトウェア開発サイクル全体と、パイプライン内のすべてのコンポーネントを最適化する必要があることを強調しています。「データ エンジンはこの進化から取り残されています」と彼は言います。「なぜなら、人々はデータベースを単なるデータベースだと考えているからです。ただし、Postgres の場合を除きます。」PostgreSQL の柔軟性と使いやすさにより、開発時間が短縮され、アプリケーションのライフサイクル全体が合理化されるため、開発者の間で人気があります。

業界が進む道を切り開く

PJ氏がEDBから受けているエンタープライズサポートは、チームが開発目標を達成し、それを上回る成果を上げる上で、常に重要な要素となっています。PJ氏は、「近年EDBとのやり取りで目にした専門知識のレベルは、エンタープライズ業界では一般的に欠けているものです」と述べています。

彼はまた、EDBの長年にわたるオープンソースへの取り組みを高く評価しています。「私はオープンソース全般に非常に情熱を持っています」と彼は言います。「EDBが今でもオープンソースに深く関わっているという事実は、もう一つのゲームチェンジャーです。コミュニティに深く関わっていてコミュニティの進化を妨げることはありません。」

PJ氏は、長年にわたって業界の従来のプロバイダーの品質が低下してきたことを見てきたが、注目すべき例外がEDBだと述べています。

「EDBは、現在の市場に必要なイノベーションのペースに関して正しい方向に進んでいます。」とPJ氏は指摘します。「一般的に、機能や安定性、パフォーマンスの面で、必要なときに市場をはるかにリードし、ほぼ準備ができているからです。」

「現在の市場に必要なイノベーションのペースに関して言えば、EDBは正しい方向に進んでいます。」

Piergiorgio Spagnolatti
インフラストラクチャ責任者
Banca Popolare di Sondrio (BPS)



EDB PostgreSQL AIについてEDB

Postgres AI は、オンプレミスとクラウド全体で安全かつコンプライアンスに準拠した、完全にスケールアップ可能な環境を備えた、初のオープンなエンタープライズグレードのソプリデータおよびAIプラットフォームです。グローバルパートナーネットワークによってサポートされている EDB PostgreSQL AI は、トランザクション、分析、AIのワークロードを統合し、組織が必要な場所、時間、方法でデータと LLM を運用できるようにします。

詳細は公式ホームページにて：www.enterprisedb.com